

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和8年3月13日（金）

2 確認箇所

- ・事務本館（遠隔操作室）（図1）
- ・F2タンクエリア（図1）

3 確認項目

- （1）3号機原子炉格納容器（PCV）内の気中部調査の実施状況
- （2）F2タンクエリアの設備の状況

4 確認結果の概要

（1）3号機原子炉格納容器（PCV）内の気中部調査の実施状況

福島第一原子力発電所の1～3号機の燃料デブリの取り出しには技術的な課題が多いことから、東京電力は、原子炉格納容器内の気中部調査を実施し、燃料デブリ取り出しの方針を検証することとしている。3号機においては、3月5日から、超小型ドローン（マイクロドローン）※¹を用いた原子炉格納容器内部の気中部調査が実施されている。この調査では、計11日間にわたって、計21回のマイクロドローンの飛行を実施し映像を取得することで、貫通孔※²付近、ペDESTAL※³内部等における干渉物の有無、損傷、劣化状態等について確認することを目的としている。

今回、この調査の7日目の工程が実施されることから、その実施状況を遠隔操作室において確認した。（前回確認：令和8年3月9日）

- ・当日の調査内容は、マイクロドローンの飛行を2回行い、ペDESTAL内上部の制御棒駆動機構ハウジング（CRDハウジング）※⁴の破損位置、付着物の有無、付近の干渉物の有無等を確認することである。
- ・内部調査の開始前に、遠隔操作室において、東京電力及び協力企業の担当者が打合せを行い、当日の調査内容、手順、注意事項等を確認した。
- ・マイクロドローンを原子炉格納容器内に挿入するにあたり、遠隔操作室でマイクロドローン挿入装置を操作する者と原子炉建屋内でマイクロドローンを挿入装置にセットする者が無線で連絡を取り合い、調査手順を復唱しながら確認し、慎重に作業を進めていた。
- ・2回のマイクロドローンの飛行は予定通り実施され、調査はトラブルなく進められた。
- ・調査の実施にあたり、原子炉注水が一時的に停止されたが、原子炉压力容器内部の温度、圧力等に異常は認められなかった。

※1 マイクロドローン：寸法は縦130mm、横120mm、高さ40mm、質量は95g。
1回充電すると、空中を約10分間飛行しながら、搭載したカメラにより映像を録画できる。

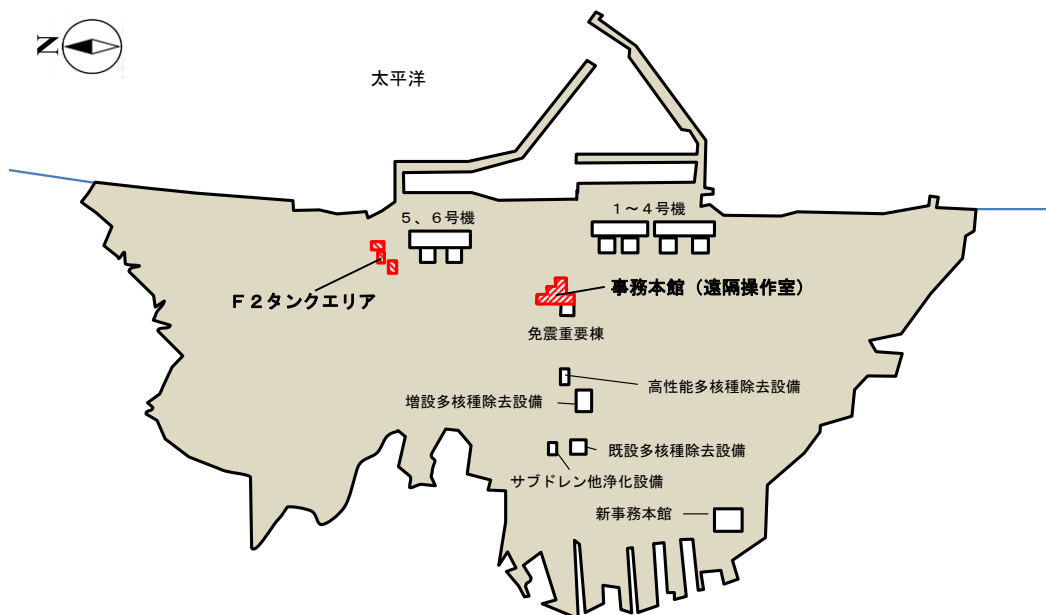
- ※2 貫通孔：資機材の搬出入、ケーブルの設置等を目的に設置された、外部から原子炉格納容器内部に通じる開口のこと。燃料デブリの試験的取り出しの際に、貫通孔を原子炉格納容器内部へのアクセスルートとして用いる計画がある。
- ※3 ペDESTAL：原子炉圧力容器を下から支える鉄筋コンクリート製の構造物。
- ※4 CRDハウジング：原子炉圧力容器の下部に接続し、制御棒駆動機構（CRD）等を内部に収納する構造物。3号機では、事故に伴い溶融した核燃料が原子炉圧力容器から下部に落下したことにより、CRDハウジングは破損した可能性があると推定されている。

（2）F 2 タンクエリアの設備の状況

福島第一原子力発電所のF 2 タンクエリアのタンクは、過去に、5号機及び6号機の原子炉建屋及びタービン建屋の地下に滞留した水の一時貯留、油分分離等に用いられていた。当該エリアのタンクにはフランジ型のタンク※5が含まれ、タンク内包水の漏えいのリスクがあることから、東京電力は、令和6年度までに当該タンクの使用を停止するとともに、他のタンクを用いて滞留水の貯留、浄化等を行う運用を開始した。F 2 タンクエリアではタンク内包水の処理が完了しており、令和8年度に撤去が計画されている。

今回は、F 2 タンクエリアにおいて使用が終了したタンク等の状況を確認した。（前回確認：[令和7年8月6日](#)）

- ・ F 2 タンクエリアのタンク、堰等は腐食が進行し（特にフランジ部において顕著）、配管の保温材は劣化が進行していたものの、確認した範囲で、タンク及び配管からの漏えい、設備の散逸等の異常は認められなかった。（写真1、2）
 - ・ F 2 タンクエリアの全てのタンクにおいて、表面に「運用停止中、内包水無」の旨が掲示されており、タンクの使用を停止したことが識別できる対策が講じられていた。（写真1）
 - ・ 過去にF 2 タンクエリアからの滞留水の移送に用いられていた配管及びポンプは、腐食、劣化等が進行していたものの、確認した範囲で、設備の破損は認められなかった。（写真3、4）
- ※5 フランジ型タンク：複数の部材（側板）のフランジ（縁の部分）をボルト等で接合して組み立てたタンクのこと。部材を溶接して組み立てたタンク（溶接型タンク）に比べて、フランジ型タンクではタンクの内包水の漏えいのリスクが高いとされる。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) F2タンクエリアB群のタンク（フランジ型タンク）の外観



(写真2) F2タンクエリアC群のタンク（フランジ型タンク）の腐食状況



(写真3) 滞留水の移送配管（使用済み）の保管状況



(写真4) 滞留水の移送ポンプ（使用済み）の保管状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。